

令和4年司法試験 合格体験記

2021年度修了（未修コース）廣瀬 天晴

16期末修の廣瀬天晴と申します。様々な方の支えがあり、令和4年司法試験に合格することができました。ありがとうございます。

私は、岡山大学法学部を卒業しましたが、当時は旅行に行くばかりの怠け者であったため、未修で岡山大学法科大学院に入学しました。世の中はコロナに振り回されていますが、この3年間のほとんどが旅行に行けない環境になったことは、私の合格に少しばかりは寄与していると思います。

さて、怠け者である私が、司法試験に合格できた理由ですが、努力をしたことにあると思っています。私は、大学途中まで野球・ソフトボールをやっており、部活動では、“努力は裏切らない”とよく言われました。しかし、それは間違っていると思っています。努力は平気で裏切ってきます。予習をしても答えられないソクラテス、対策をしてもきちんと書けない定期試験や何を聞かれているのかさえわからない司法試験等、数え切れない裏切りが待っています。

そうであるにもかかわらず、私が努力を続けられた大きな理由は、様々な方の支えがあったからです。

お忙しい中、レベルの高い講義だけでなく課外ゼミまで開催して下さった先生方、資料収集のサポートから自習室周りの環境整備までして下さった資料室の方、くだらない質問にも親身になって答えて下さった先輩方、そして一緒に学修することでモチベーションの維持につながった同期・同学年の方、と限りがありません。

また、勉強を楽しむことができたことも努力を続けられた理由の一つだと思います。法科大学院で学ぶのは、大きく臨床法務という、小さく見れば憲法、民法や刑法という学問であると感じ、考えることが楽しくなりました。受験生の方は是非、司法試験合格という短期的な見方だけでなく、学問をする楽しさという長期的な見方をもってください。

最後になりますが、私は、“努力は裏切らない”ではなく、“努力しないことは裏切らない”というほうが正しいと思っています。この言葉の意味が分かる方には、ぜひ努力をしていただきたいです。

私も、岡山大学法務研究科と世の中に、少しでも還元できるように努力を続けたいと思います。